

〈深淵〉に声を上げさせるため、すべての言語を叩き潰すのだ……

ベトナム戦争の混迷が続く1967年、26歳の若き詩人が放った思想闘争の書。

ハイデッガー思想との対話／対決を通じ、ベトナム戦争の窮極的原因を西洋形而上学と見定めた著者が、祖国の底に流れる東洋の叡智をもって、西洋近代が忘却してきた〈存在〉の覚醒を訴え、一切の思弁を破壊して、洋の東西を越えた人類共通の故郷たる〈深淵の沈黙〉への路を提示する——時代の閉塞に挑んだ、孤高の思想を初邦訳。

深淵の沈黙

四六変型・並製 368頁 定価: 本体3200円+税

ファム・コン・ティエン【著】 野平宗弘【訳】

【著者紹介】

ファム・コン・ティエン(Phạm Công Thiện)

1941年、ベトナム南部ミット一生まれ。詩人、思想家。小学校を退学後、10代半ばより執筆活動を始め。評論集『文芸と哲学における新たな意識』(1964年)、詩集『蛇の生まれ出づる日』(1966年)、思想書『深淵の沈黙』(1967年)、小説『太陽などありはしない』(1967年)、といった1960年代半ばより発表された一連の著作によって、ベトナム戦争当時の南ベトナムで話題となり時代の寵児となる。1966年から1970年まで仏教系私立大学万行大学文学・人文科学学部の学部長を務める。1970年に南ベトナムを去ると同時に断筆。1975年から1983年までフランスのトゥールーズ大学で西洋哲学の助教授を務めた後、アメリカに移住。1987年に執筆活動を再開し、小説『地上における荒廃した一夜の果てへ』(1988年)、詩集『一切頂上には寂静』(2000年)の他、文学・哲学・仏教思想に関する多くの著作を発表。2011年、テキサス州ヒューストンにて没。

【訳者紹介】

野平宗弘(のひら むねひろ)

1971年生まれ。東京外国語大学大学院総合国際学研究院講師。専門はベトナムの文学・思想。著書に、『新しい意識 ベトナムの亡命思想家ファム・コン・ティエン』(岩波書店、2009年)、『バックナリア 酒と文学の饗宴』(共著、成文社、2012年)、翻訳書に、井筒俊彦『禅仏教の哲学に向けて』(ぷねうま舎、2014年)、ヘンリー・ミラー『ヘンリー・ミラー・コレクション15 三島由紀夫の死』(共訳、水声社、2017年)などがある。



ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行: 東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559 FAX.042-330-5199
			ファム・コン・ティエン【著】 野平宗弘【訳】 深淵の沈黙 四六変型・並製・368頁・定価: 本体3200円+税
		冊	ISBN978-4-904575-66-6 C0098 ¥3200E

ご注文はJRCへ →FAX. 03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い